

「しみセン “つながる” ネット」の運用について

「しみセン」(京都市市民活動総合センター)では、地域の様々な課題等に対し、市民活動団体など多様な主体とのネットワークを形成し、連携を促すことで、地域社会を支える活動を促進しています。

この度、自治会・町内会など地域で活動する団体が抱える「地域をもっと良くしたい!」「ちょっと困っている…」という思いに対して、しみセンがそのネットワーク機能をいかして仲介役となり、伴走支援ができる市民活動団体の紹介からマッチングにいたるまでのサポートを行う「しみセン “つながる” ネット」の運用を開始(8月20日広報発表)しました。

(参考) 地域団体とNPO法人の連携促進事業

<事業概要>

地域団体とNPO法人があらかじめ連携していることを前提に、地域の課題解決に取り組む事業について、市民から寄附を募り、集まった寄附額と同額(上限25万円)を助成する制度。

平成25年度から令和2年度まで、地域コミュニティ活性化策の一つとして、公益財団法人京都地域創造基金へ事業委託のうえ実施。

<実績>

㉕10件、㉖8件、㉗4件、㉘4件、㉙2件、㉚4件、㉛3件(1件中止)

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業を休止

1 対象団体

市民活動団体…法人格の有無を問わず、目的を持って公益的な活動を行う団体
(NPO法人、一般社団法人、実行委員会 等)

地域団体…地域住民で構成された地縁組織
(自治会・町内会、体育振興会、自主防災会 等)

2 マッチングの内容

マッチングの流れ及び事例については**別紙**のとおり

3 運用開始に係る広報

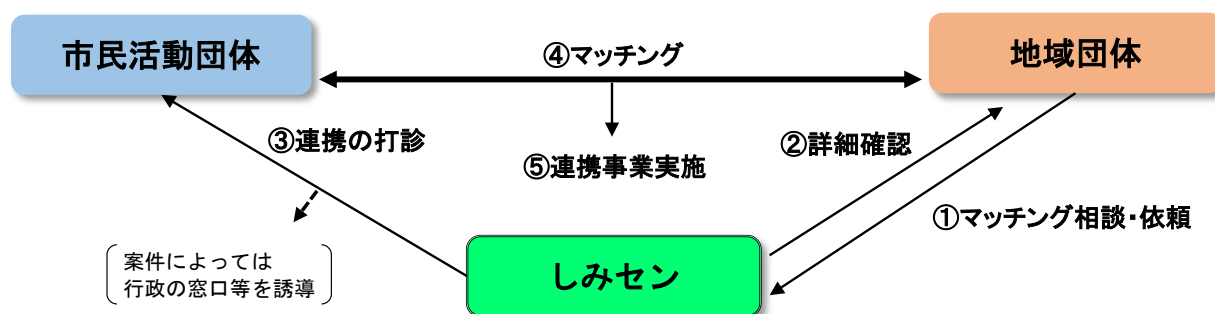
- ・ リーフレットの町内回覧(9/1号市民しんぶんと同時配布)
 - ・ 市政広報板へのポスター掲示(掲示期間:9/1~9/15(予定))
 - ・ しみセンホームページに特設ページを開設
- その他本市所管NPO法人等へ事業周知

4 運用開始後のしみセンへの相談状況

【地域住民・団体】

- ・ 地域の防災マップを作りたい
 - ・ 自己所有の空き物件を若い人の起業支援に使ってほしい
 - ・ 野良猫への餌やりをどうにかしたい 等
- いずれもしみセンにおいて詳細の情報収集を行い、必要に応じて市民活動団体との連携を視野に入れた個別相談を実施。

<マッチングの流れ>



①	地域団体→しみセン 【マッチング相談・依頼】	・地域団体からマッチングの相談や依頼を受ける。
②	しみセン→地域団体 【詳細確認】	・しみセンが依頼のあった地域団体を訪問し、地域団体から詳細の聞き取りを行う。
③	しみセン→市民活動団体 【連携の打診】	・地域団体から聞き取った内容を基に、地域団体の希望に合致する市民活動団体を選出し、連携を打診する。
④	市民活動団体×地域団体 【マッチング】	・市民活動団体と地域団体を引き合わせ、具体的な協議を行う（地域課題の共有、目指す到達点、進める上での条件や役割分担、スケジュール等を確認する）。 ・協議により合意形成が図れたら、連携事業実施へ。
⑤	【連携事業実施】	・しみセンによるサポートを経て、市民活動団体と地域団体が連携して事業を実施。

<地域団体×市民活動団体により想定される連携事例>

地域の「より良くしたい！」こと			市民活動団体ができること
地域団体をもっとうまく運営したい！	運営方法を見直したい。		・会則の作り方、会計方法の見直し、会議運営方法の見直しなどのアドバイス
	地域の共有財産の維持・管理はどうすればいいのだろうか？		・地域の共有財産の維持・管理の方法についての話し合いサポート ・法人化が必要な場合のサポート
地域で仲良く、地域を元気に！	地域のいいところを見つけたい、伝えたい。		・地域の広報紙づくりのサポート
	マンションの中にもコミュニティを作りたい。		・独自の防犯・防災マニュアルづくりのサポート ・見守り活動の実施
いざという時に備えたい！	地域での防災は何から考えればいいのか？		・避難訓練のプログラムづくり ・災害時を想定した地域独自のBCP（運営継続計画）づくりのサポート
地域のお祭りをもっと充実させたい！	お祭りを盛り上げる出し物をしてほしい。		・音楽等演奏会の開催 ・子ども向け、親子向けなど各種ワークショップの実施